■ グループ紹介

財団法人　日本エネルギー経済研究所

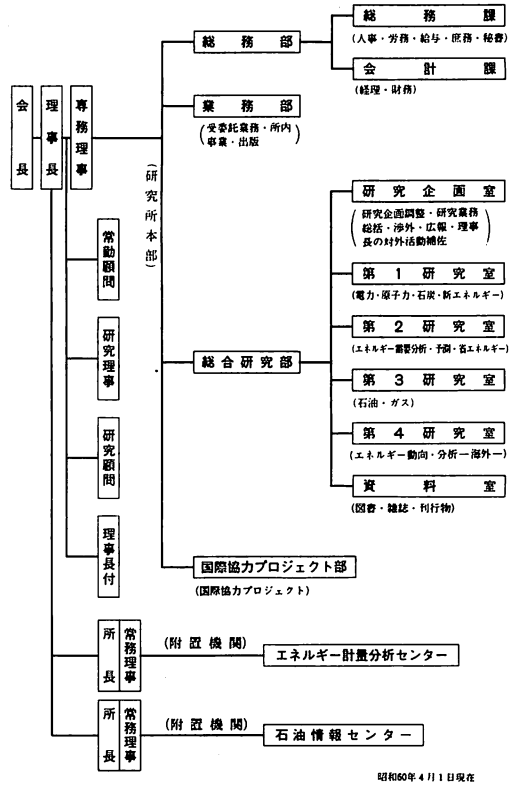
1. 研究所の歴史

財団法人日本エネルギー経済研究所は，昭和41年6月，エネルギー産業（石油，電力，都市ガス）を中心に消費産業（鉄鋼，化学，機械等），商社，銀行など民間会社が基金を供出し設立された．まだ，日本に“エネルギー”ということばが一般的に定着せず，ＯＰＥＣさえあまり知られなかったころである．理事長に有沢広己東大名誉教授，所長に向坂正男元経済企画庁総合計画局長を迎え少人数でスタートした．現在，会長向坂正男，理事長生田豊朗（元原子力局長）のもとに，総勢120名を擁している．今年6月，創立20周年を迎える．当初から，“エネルギー経済”研究に特化しているが，創立時の1960年代半ば頃は，“エネルギー革命”（石炭から石油へ）が進行中であり，日本のエネルギー政策，産業研究のためにも欧州を中心とした海外エネルギー事情の調査研究が重要な柱の１つとなった．また，ＯＰＥＣが生産，価格政策の発動を本格化し始め，中東情勢，石油価格の研究も柱の１つとなった．その後，1973年の石油危機を経て，石油代替エネルギー（原子力，石炭，ＬＮＧ，新エネルギー），エネルギー需要（省エネを含む）の研究，さらに経済・産業構造・生活パターンの変化等を織込んだエネルギー需給予測が，重要な看板研究となった．

2. 研究所の体制

研究所は，総合研究部（約60名からなる）を中心に活動しているが，付置機関として，昭和56年8月に石油情報センター（石油情報サービス中心），昭和59年10月エネルギー計量分析センター（データバンク，モデル中心）が設置され，研究調査活動分野は一層広がった．研究所の特色としては，エネルギー経済分野に限定したものとしては，財政規模，スタッフ数ともに他の国に例を見ないほどの大きさであること，最近受託研究が増えているものの約150社の会員へのサービスのウエイトが大きいこと，会員会社からの出向研究員数十名を通して最新情報を活用していることなどであろう．また，国際協力にも力を入れており，国際協力プロジェクト部がそれを担当している．ＭＩＴエネルギー研究所，オックスフォード大エネルギー研究センター，

（財）日本エネルギー経済研究所機構図



カリフォルニア大ローレンスバークレー研究所，スタンフォード大エネルギー研究センターなどとの交流をはじめとして，国際交流は最近ますます盛んになっている．

3. 研究活動とテーマ

研究活動は，エネルギー需給，価格，技術，政策，産業研究など広い分野にわたっているが，研究の主要な柱は以下の通り．

(1) 国際エネルギー需給・価格動向分析
　——石油需給と原油価格展望

(2) わが国のエネルギー需給構造の分析と展望
　——21世紀ビジョン（2000年，2030年展望）
　——短中期見通し

(3) エネルギー産業，消費産業の研究
　——石油産業と石油政策
　——産業構造変化とエネルギー消費分析

■ グループ紹介

(4) 環太平洋エネルギー市場分析と国際協力

(5) エネルギーデータバンクシステムによるデータサービスと各種モデルによるシミュレーション

研究活動の成果は，各種行事（年末エネルギー経済シンポジウム，夏期大学，定例研究会，各種懇談会，特別シンポジウム等），各種出版物（研究調査報告，月刊エネルギー経済，国際エネルギー動向分析(年10回) Energy in Japan（年6回），エネルギー情報BOX（年12回，カセットテープ）などで発表している．

その他，日本エネルギー経済研究所版「エネルギーバランス表」は，昭和40年～59年（歴年，年度）まで20年分が刊行されており，基本的なエネルギー需給統計として，会員だけでなく広く利用され，国際的にも評価が定着している．

創立20周年記念事業として，今年6月に「国際エネルギーシンポジウム」が開催され，「戦後エネルギー産業史」，「日本エネルギー経済研究所20年史」が刊行される予定である．

所在地：〒105 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル

（文責：総合研究部副部長　藤目　和哉）

次号「エネルギー・資源」5月号通巻37号目次(刊行：61/5/5)

〔論　説〕

日中エネルギーシンポジウムに参加して……大阪大学基礎工学部化学工学科教授　伊藤　龍象

分散型電源導入における法制問題……（財)電力中央研究所　三辺　夏雄

〔解　説〕

バイオリアクターにおける微生物固定化の評価

……工業技術院大阪工業技術試験所第5部燃焼化学研究室長　佐野　寛

新しい鉱物・エネルギー資源探査支援ツールについて（Ⅱ）

……京都大学工学部資源工学科　菅野　強

〔特　集〕　金属廃棄物の資源としてのサイクル化

1. 廃棄物（金属）の再資源化の現状……クリーンジャパンセンター業務部課長　三藤　利雄
2. 金・銀再利用の現状と将来……京都大学工学部資源工学科助教授　中広　吉孝
3. アルミニウム再利用の現状と回収……㈱大紀アルミニウム工業所取締役技術部長　山本龍太郎
4. 鉛・錫の再利用の現状と回収……㈱大阪鉛・錫製錬所取締役技術部長　広瀬　格二
5. 乾電池からの水銀回収問題とその処理……野村興産㈱常務取締役　兼丸　敞
6. 自動車のスクラップからの金属回収……豊田メタルスクラップ㈱半田工場工場長　熊谷　正克
7. タングステン系使用済触媒からタングステンの回収

……日清鋼業㈱レアメタル工場工場長　山内　晃吉

〔シリーズ特集〕　明日を支える資源（10）

天然ガスとLNGの現状と将来……天然ガス鉱業会副会長専務理事　檜和田亮造

〔技術報告〕

波力エネルギー利用ヒートポンプシステム……三菱電機㈱中央研究所　平井　哲夫

〔書　評〕……三菱電機㈱中央研究所

エネルギー研究部主幹　武藤　浄

〔グループ紹介〕　北海道工業開発試験所，日立化成工業㈱，東亜燃料工業㈱

〔会員の声〕「日本のエネルギー政策の一側面」……愛知工業大学機械工学科助教授　戸伏　壽昭

〔技術・行政情報〕〔会　報〕